

抗がん薬治療後の排泄物・洗濯物の取り扱いについて

多くの抗がん薬はがん細胞に効果がある反面、正常な細胞には有害な作用があります。そして、これらの抗がん薬の多くは体外に排泄されるまで約2日かかり、その間は治療を受けた方の汗など体液や排泄物には微量の抗がん薬が含まれます。

そのため治療後2日間は、本人だけでなく体液や排泄物に触れる機会があるご家族や医療者など、周囲の方にも抗がん薬が影響を及ぼすことがあります。

みんなが安全に過ごすために「**抗がん薬の注射や飲み薬が終わってから2日間**」は以下のような注意を守って過ごしましょう。



■ 排泄時の注意点

- ・ 尿の飛び散りを防ぐため、男女とも洋式トイレに座って排尿します。
- ・ 尿や便によって便器が汚染した場合は、速やかに拭き取ります。
- ・ 排泄後は2回水を流します（フタがある場合はフタを閉めてから水を流す）。
- ・ トイレの後は、流水とハンドソープでしっかり手を洗いましょう。



■ 体液や排泄物がついたものの取り扱い

- ・ 使用済みのストーマ用品や衣類・オムツや排泄物等で汚染した物を廃棄する時はビニール袋に入れて密閉してから捨てます。

衣服やシーツなどが排泄物や嘔吐物で汚染した場合は、家族の洗濯物とは別に2度洗います。

（1回目は家族の物と別に酸素系漂白剤（ワイドハイター®など）を入れて洗います。2回目は普段通り家族の物と一緒に洗濯しても大丈夫です。）

- ・ 周囲の方が排泄物を片付ける場合は、手袋を装着して処理を行い、片付けの後は流水とハンドソープでしっかり手を洗いましょう